

売上収益

4,250億円 前期比 **17.6%増**

抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」は、非小細胞肺癌一次治療、胃がん一次治療、尿路上皮がんおよび原発不明がんでの使用拡大を見込んでおり、前期比426億円(37.8%)増加の1,550億円を予想しています。また、その他の主要新製品での売上拡大、ロイヤルティ収入の伸長を見込んでおり、次期の売上収益は前期比636億円(17.6%)増加の4,250億円を予想しています。

営業利益

1,450億円 前期比 **40.5%増**

売上原価は、製品商品の売上増加に伴い、前期比105億円(11.2%)増加の1,040億円、研究開発費は、持続的成長に向けた積極的投資により、前期比111億円(14.7%)増加の870億円、販売費及び一般管理費は、売上拡大に伴う費用の増加や、情報基盤投資、グローバル事業の強化に向けた積極的な投資により、前期比109億円(14.2%)増加の880億円を見込んでいます。一方でその他の費用は前期比112億円(88.2%)減少の15億円を見込んでおり、次期の営業利益は前期比418億円(40.5%)増加の1,450億円を予想しています。

税引前当期利益

1,460億円 前期比 **39.0%増**

金融収支等は、前期比8億円(45.3%)減少の10億円を見込んでおり、次期の税引前当期利益は前期比410億円(39.0%)増加の1,460億円を予想しています。

親会社の所有者に帰属する当期利益

1,100億円 前期比 **36.6%増**

法人税等は、前期比116億円(47.5%)増加の359億円を見込んでおり、親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比295億円(36.6%)増加の1,100億円を予想しています。

注) 新型コロナウイルス感染症により、引き続き一定の活動制限が継続されることを想定しておりますが、業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示します。